



天龍製鋸株式会社



平成17年3月期 中間決算説明資料

平成16年11月25日

お問い合わせ：☎ 0538-23-6111

E-mail : info @ tenryu-saw.com

企業集団の状況

1

当社の企業集団は、当社と連結子会社3社で構成されており、鋸・刃物類の製造、加工及び販売を主な事業内容としております。事業に係わる位置づけは次のとおりであります。

生産体制

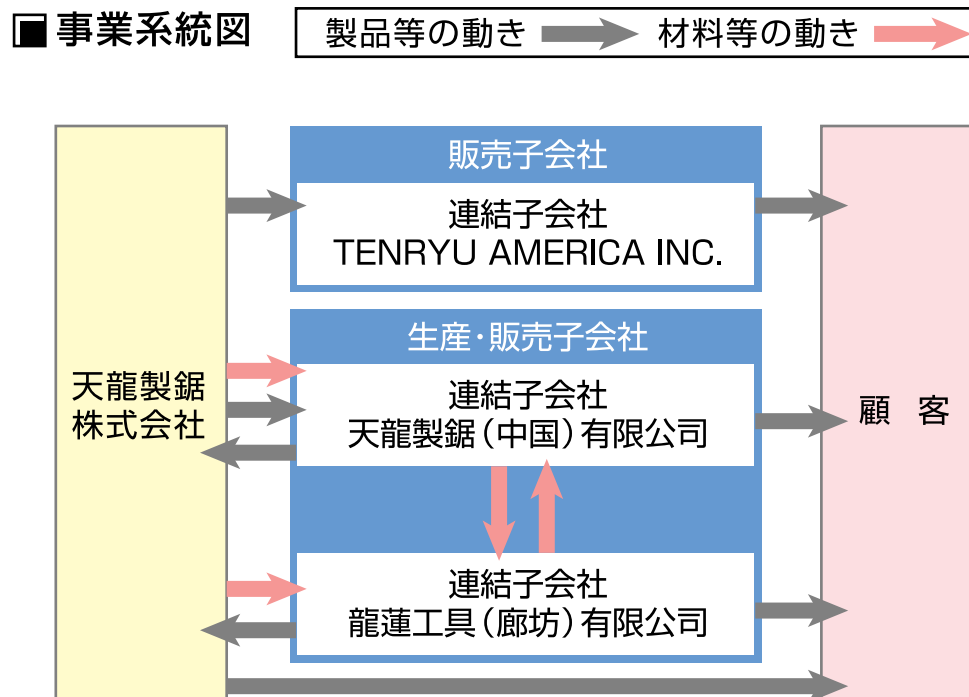
国内においては、当社が生産し、海外においては、天龍製鋸（中国）有限公司及び龍蓮工具（廊坊）有限公司が生産しております。

販売体制

当社では、国内及び海外に販売しております。

TENRYU AMERICA INC.では、米国市場を中心に販売しております。

天龍製鋸（中国）有限公司及び龍蓮工具（廊坊）有限公司では、中国市場を中心に販売しております。



業績の概要

2

《連結》

- 売上高：
3,985 百万円
- 経常利益：
741 百万円
- 当期純利益：
482 百万円

■ 経済の動向

当中間期のわが国経済は、大手製造業を中心に景気の回復が本格化し、総合では景気は穏やかな回復基調を辿りました。また、海外におきましては、北米を中心として景気は拡大基調を持続しており、ユーロ圏の景気も穏やかに回復してきました。アジアでは中国の抑制策の影響を受けたものの総じて拡大傾向を示しました。しかしながら依然回復に至らない産業分野も多く、原油価格の高騰や輸出の先行き懸念により景気の伸びは鈍化してまいりました。

■ 業界の動向

当社が属する日本機械鋸刃物工業会におきましては、全体で前年同期比100.8%の生産高に止まり、昨年とほぼ同じ水準で推移致しました。また、当社の生産品目の中枢であるチップソーでは前年同期比105.9%の伸張がありました。

■ 営業の動向

このような情勢の中で当社グループは、住宅関連産業の景気回復と大型基幹産業の好調な景況の波及がもたらした受注に恵まれました。また、それに呼応した海外と国内の生産分業が功を奏し、計画を上回る販売実績となりました。

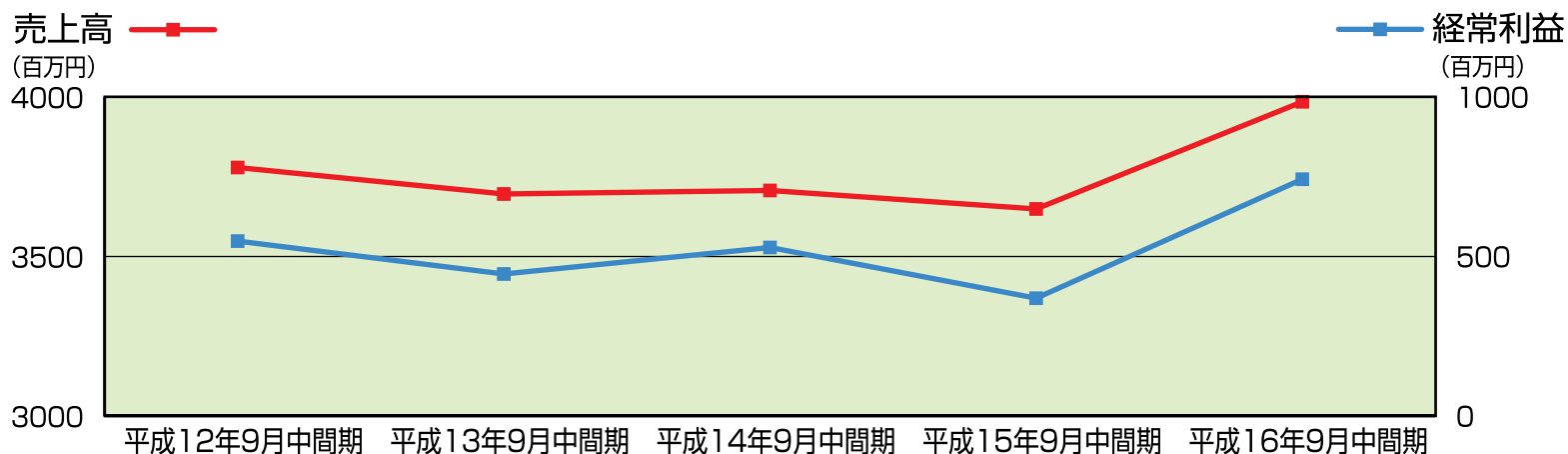
この結果、当中間連結会計期間の売上高は3,985百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益は561百万円（前年同期比12.7%増）、経常利益は741百万円（前年同期比101.1%増）、中間純利益は482百万円（前年同期比54.3%増）の増収増益となりました。

連結決算の概要

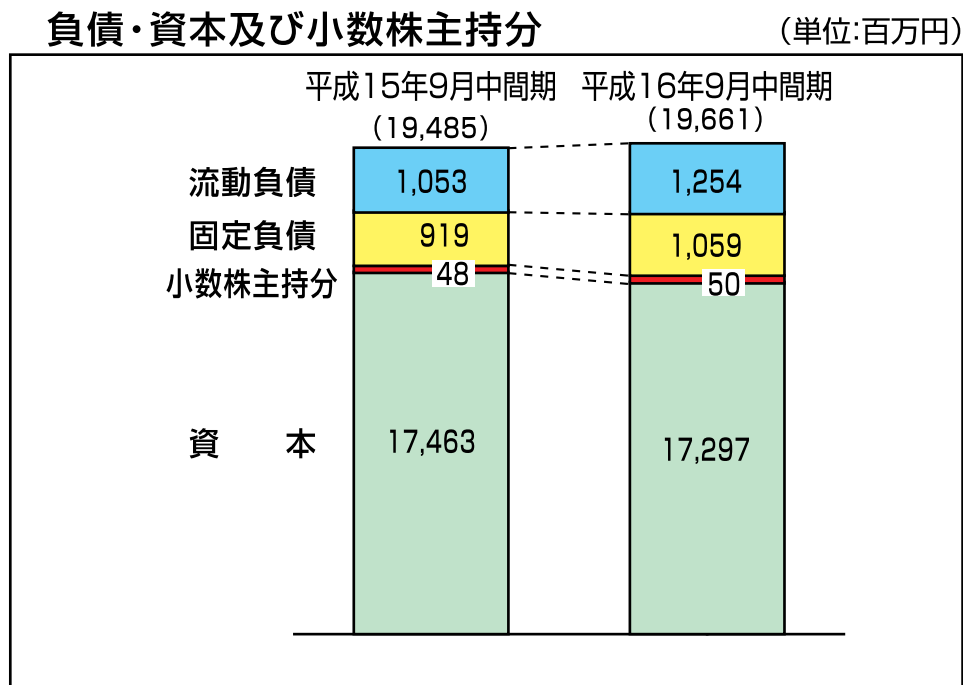
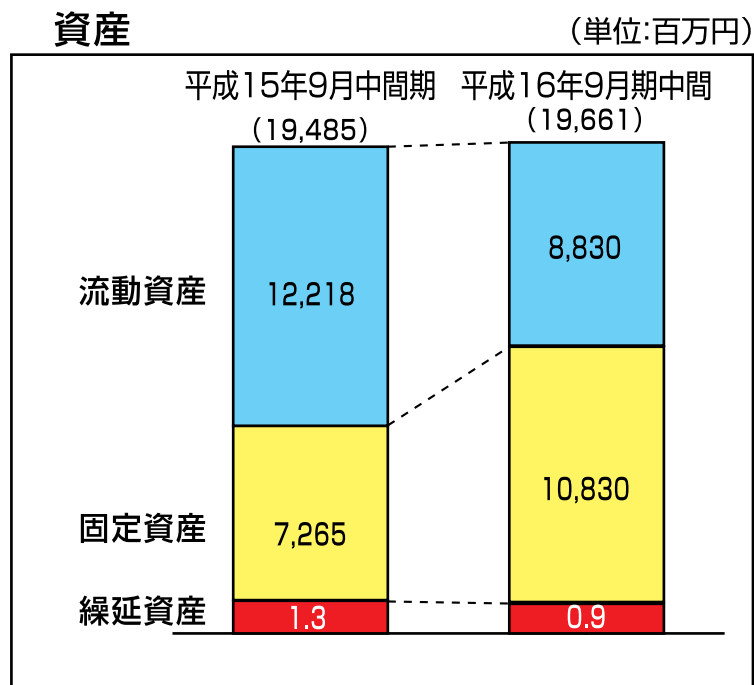
(単位:百万円)

	平成12年 9月中間期	平成13年 9月中間期	平成14年 9月中間期	平成15年 9月中間期	平成16年 9月中間期	増減額 (増減率)	平成15年 通 期
売上高	3,779	3,696	3,707	3,649	3,985	335 (9.2%)	7,423
営業利益	412	469	566	498	561	63 (12.7%)	804
経常利益	547	444	527	368	741	372 (101.1%)	730
当期純利益	194	288	304	312	482	169 (54.3%)	481

連結ハイライト数値推移



上期末連結貸借対照表



■ 資産増減：175百万円

〈増減内訳〉

● 流動資産：△3,388百万円

(現金・預金 : △2,612)
(有価証券 : △ 979)
(受取手形・売掛金 : 142)

● 固定資産： 3,564百万円

(投資有価証券 : 3,328)
(有形固定資産 : 212)

■ 負債・資本増減：175百万円

〈増減内訳〉

● 流動負債： 201百万円

(支払手形・買掛金 : 65)
(未払法人税等 : 121)

● 固定負債： 139百万円

(退職給付引当金 : 97)

● 資本：△166百万円

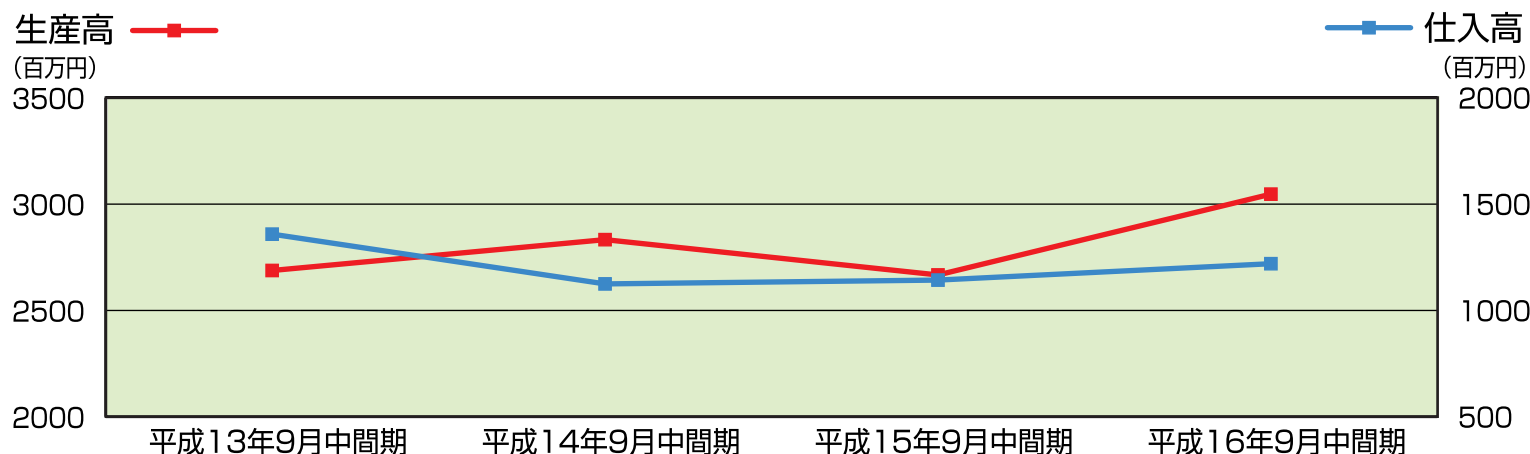
(為替換算調整勘定：△172)

生産・仕入状況

(単位:百万円)

種 類	生産高					仕入高				
	平成13年 9月中間期	平成14年 9月中間期	平成15年 9月中間期	平成16年 9月中間期	増減率	平成13年 9月中間期	平成14年 9月中間期	平成15年 9月中間期	平成16年 9月中間期	増減率
電動工具用チップソー・刃物	1,595	1,665	1,503	1,837	22.2%	507	456	432	424	△1.8%
製材、木工、 その他産業用チップソー・刃物	995	1,067	1,093	1,138	4.1%	348	166	357	396	10.8%
製材、木工、 その他産業用機械・刃物	97	100	71	71	0.8%	501	500	351	397	13.0%
合 計	2,688	2,833	2,667	3,047	14.2%	1,357	1,123	1,141	1,218	6.7%

※上記金額は、平均销售价格によっております。
※上記金額には、消費税は含まれておりません。

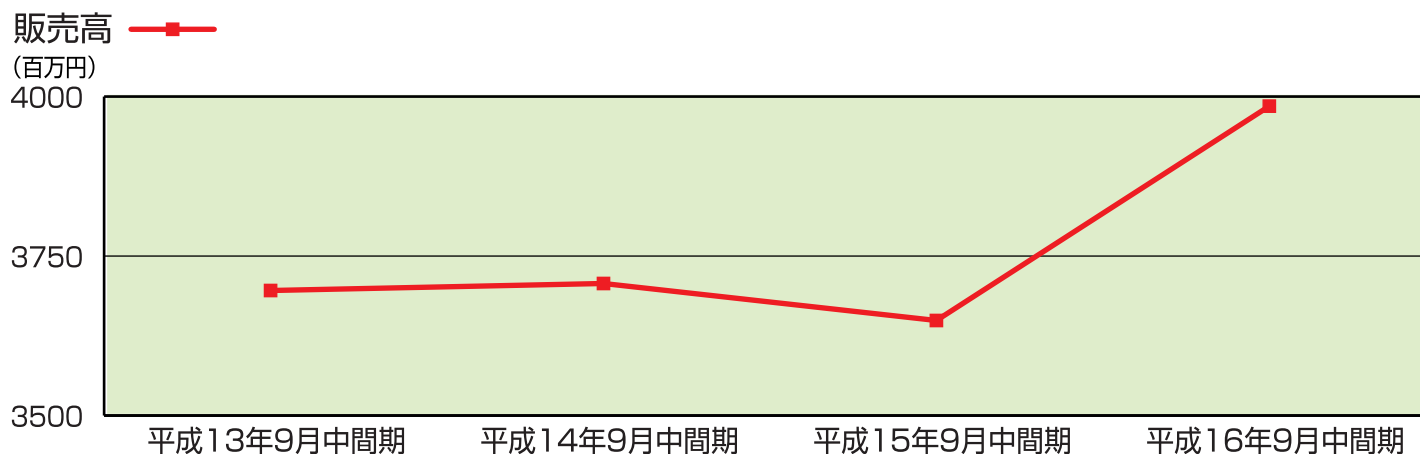


販売実績

(単位:百万円)

種 類	販 売 高				
	平成13年 9月中間期	平成14年 9月中間期	平成15年 9月中間期	平成16年 9月中間期	増減率
電動工具用チップソー・刃物	1,740	2,089	1,961	1,909	14.8%
製材、木工、その他産業用チップソー・刃物	1,024	980	1,171	1,484	1.0%
製材、木工、その他産業用機械・刃物	908	614	486	559	14.9%
そ の 他	22	22	29	31	6.0%
合 計	3,696	3,707	3,649	3,985	9.2%

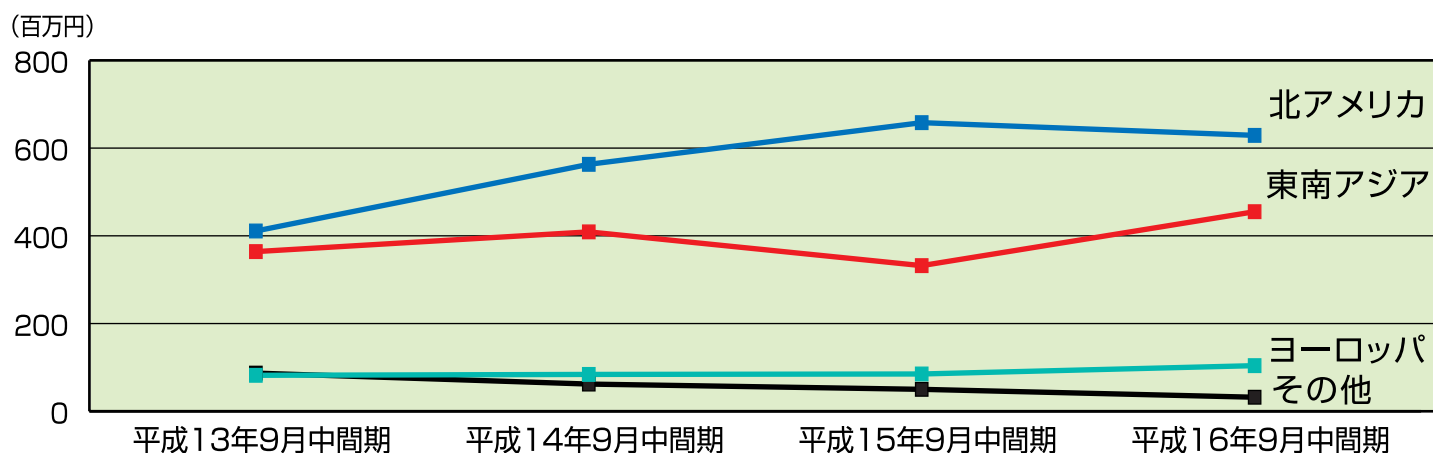
※平成16年9月中間期より、一部品種の集計区分を変更したため、前年同期比計数は平成15年9月中間期を同じ基準に組み替えた後算出しました。



海外売上高

(単位:百万円)

	平成13年9月中間期	平成14年9月中間期	平成15年9月中間期	平成16年9月中間期
東南アジア	364	409	332	455
北アメリカ	411	563	658	629
ヨーロッパ	82	84	85	104
その他	87	62	50	32
合計	947	1,119	1,128	1,221

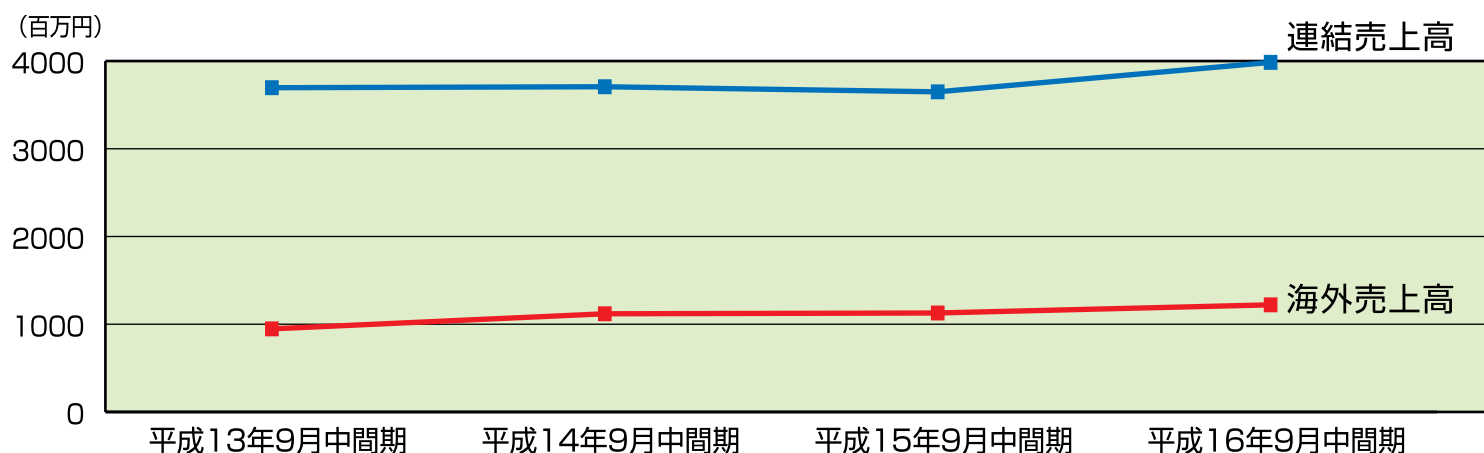


※海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高です。

海外売上高と連結売上高合計

(単位:百万円)

	平成13年9月中間期	平成14年9月中間期	平成15年9月中間期	平成16年9月中間期
海外売上高	947	1,119	1,128	1,221
連結売上高	3,696	3,707	3,649	3,985
連結売上高に 占める 海外売上高	25.6%	30.2%	30.9%	30.6%



※海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高です。

通期の見通し(連結)

9

(単位:百万円)

	平成15年度	平成16年度		
	実績	見通し	増減	増減率(%)
売上高	7,423	8,000	576	7.8
経常利益	730	1,200	469	64.4
当期純利益	481	700	218	45.5

通期の見通し

原油価格の高騰や原材料価格の値上りなどにより、世界の景気回復の鈍化が予測され、またイラク問題による先行き不透明感など、予断を許さない状況が続くものと思われます。

当社を取り巻く産業分野では住宅関連産業の景況の鈍化が見られるものの、鉄鋼を中心とした基幹産業の景況変化は穏やかに推移するものと見込んでおります。

通期の業績予測といたしましては、売上高8,000百万円、経常利益1,200百万円、当期純利益700百万円を見込んでおります。

本資料についてのご注意

本資料は、業績の進捗状況の参考となる情報提供のみを目的としたものであり、投資等の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また本資料を判断材料とした投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本資料中の予想または計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等今後様々な要因によって予想または計画数値と異なる場合があります。